

伊藤ひろし県議会報告

（県と市の懸け橋として）

県議二期目、任期残り一年八ヶ月

習志野市のまちづくりに向けて、
私を取り組みたい、前進させたいこと

【概要版】

一、『防災』

・河川、上水道、下水道の総合災害対策
・県防災倉庫の液状化地域、河川氾濫想
区域からの移転

・市指定避難所の県立津田沼高校の大規模
改修と体育館への空調整備

二、『交通』

・県道船橋長沼線の歩道安全対策「藤崎く実籾」
踏切道の災害時の長時間遮断対応

・都市計画道路の早期四車線化の開通

「鷺沼く鷺沼台」藤崎茜浜線と「武石インター

チェジ長作方面く八千代市」東習志野実籾線

・西京葉線 新習志野駅の利便性向上

りんかい線「新木場駅」との直通運行

三、『都市』

・県職員住宅跡地の利活用

習志野市泉町・八七〇〇㎡

・警察官舎の建て替え構想

警察官舎と隣接県営住宅の一体的な建て替え「香澄地区」

・汚水処理事業の共同化

「市施設」津田沼浄化センター機能を

「県施設」花見川第二終末処理場での

連携・統合処理

・鷺沼特定土地地区画整理事業の着実な進行

東日本大震災、令和元年房総半島台風での被害、市議会議員三期十二年の経験で実感した本市の県政課題を、熊谷千葉県知事、宮本習志野市長と連携しながら、県と市の架け橋として習志野市のまちづくりに貢献する決意です。

